

あなたが世界を変える日



環境＝文化 NGO ナマケモノ倶楽部事務局長 馬場 直子

子どもの未来は子どもが決める

今でこそ、各国首脳が集まる国際会議で、子ども会議が同時開催されたり、子ども代表のスピーチが本会議で紹介されたりすることは珍しくないが、そのきっかけをつくったのは、セヴァン・スズキだといっても過言ではない。

彼女は招待されたわけではなく、自分たちで旅費を貯めて会場に赴き、さらに NGO ブースでの粘り強いアピールの結果、5分間という最高の機会を手にすることができた。実は、彼女たち ECO メンバーが本会議で発言できるという知らせを受けたのは、帰路の飛行場へと向かうタクシーの中だったという。

もちろん、チケットのことなんかお構いなしに一行は会議場へと戻った。揺れるタクシーの中で、メンバー5人のメッセージを一つにまとめあげ、緊張する暇もなく演台に駆け上がったと、セヴァンは当時は振り返っている。

彼女のメッセージは後に「伝説のスピーチ」と呼ばれ、今もなお、世代を問わず大きな共感を呼んでいる。彼女の言葉が15年以上経っても風化しないのは、まさに裏表のない子どもの言葉だからだろう。

私から世界を変える

地球環境サミットでスピーチを行って以来、セヴァンは青年環境活動家としてさまざまな国際会議に参加し、また世界各国で講演活動を行ってきた。

しかし彼女自身は、変革はトップからは起こらず、ひとりひとりが自分で起こさねばならないと信じて疑わない。Mahatma Gandhiの言葉「Be the change」はセヴァンの生き方そのものとも言える。

2002年、米国イェール大学を卒業したセヴァンは『ROR (Recognition of Responsibility ～責任への認識)』を提唱、若者たちから変化を起こそうと、アメリカ、カナダ、日本でキャンペーンを展開した。

これは私たちの決意表明です。
日本の人口は世界の約2%にも関わらず、石

油輸入量は第2位で、エネルギー使用量は第4位です。長年にわたって世界最大の熱帯材輸入国となっています。これほど狭い国土に、世界の約7割のごみ焼却施設を有し、その結果世界一多くのダイオキシンを排出し、生態系に深刻な影響を与えています。私たちのライフスタイルは、地球やそこに住む人間や生き物の健康を損なうことと引き換えに成り立っているのです。世界有数の先進国の一員として、私たちはいくつかのことを認めることから始めたいと思います。まず、地球には限られた資源しかないことを認めます。次に、私たちは他ならぬこの日々の行動が、良い方にも悪い方にも、そして現在から未来にわたって、地域コミュニティそしてグローバルコミュニティに影響を及ぼさずにはいないことを認めます。そして私たちは信じています。経済やGDPの無限の成長は、人間の豊かさや幸せの増大を意味しないということ。

今ここに私たちは、より良い未来のために自分にできることをしていくことを誓います。環境に対する自分の責任を引き受け、持続可能な発展という原則を、自分の生活の中で実践しようと思います。それは自分に対する次のような約束です。

- 一つ、自分を成り立たせている命の循環を敬い、大切にし、生態系の和を守ること。
- A 身の回りや地域の自然環境に目を向けよう。
 - B 自然資源や生態系を保全する動きを応援しよう。
 - C 人間と自然界に悪影響を与える製品を買わないようにしましょう。
 - D すべての命に思いやりをもって接するようになろう。そしてそうする人々を応援しよう。

一つ、民主主義と社会的公正と平和の文化をつくること。

- A 社会、政治、環境をめぐる国際問題について

て学び、それらがどう相互に関係しているかを理解しよう。

- B 新鮮できれいな空気と水に対する人間の基本的な権利を認めよう。
- C 社会活動や選挙を通じて自分の声を社会に届けよう。
- D すべての人の言論の自由を尊重しよう。
- E 非暴力で問題を解決しようとする動きを応援しよう。
- F 自分の職場で、社会や自然への負荷を最小限とするために働きかけよう。
- G 資金を投資する際には、社会と環境に対する責任を自覚しよう。

一つ、資源の消費を控え、環境への負荷を減らすこと。

- A いらぬものを買う衝動を抑え、買ったときの環境と社会への影響を考えよう。
- B 出すゴミの量を減らそう。
- C 水のムダ使いをやめよう。
- D リサイクルしよう。また、可能な限りリサイクルまたはリユースされた製品を買おう。
- E 徒歩で、インライン・スケートで、自転車で、または電車などの公共の乗り物で移動しよう。車に乗るならなるべく乗り合いで、または交代で。
- F モノがどこでどんな風に作られているかを学び、人や自然に害のない生産の技術を応援しよう。
- G 地元で、持続可能な方法で作られた食べ物を選ぼう。

この文章が地球憲章や他の様々な改革のための宣言と共に、私たちのこの思いを世界中に伝えてくれることを望みます。今、責任を持った行動をとれば、未来の人間は私たちの時代を思いやりのある生き方と思いついた変革の時代として思い起こしてくれることになるでしょう。共に、私たちの「今」をつくっていきましょう！

森はいのち、森はわたし

子どもの頃からハイダ・グワイの森や川で遊び、きれいな空気を胸いっぱい吸い込んで育ったセヴァン。当時 12 歳の子どものとして、世界のリーダーたちに訴えかけたセヴァンは今、30 代の母親として、

カナダを拠点に環境文化活動に関わっている。

母親になった今、自分の子どもは原生林をみることができるのだろうかと不安を覚えるという。「私たちは、森があるから、きれいな空気と水があるから、生命システムを維持していくことができる。文字をもたない昔の人々が知っていたこんなシンプルな法則を、私たち最近の人間はいったいどうして忘れてしまうのだろうか」

近代化の過程で自然とのつながりを断たれてしまった私たちにとって、希望は子ども、そして若者たちにあるとセヴァンは確信する。

「若者には情熱がある。いまだ社会のしがらみにがんじがらめにされていない。その情熱と自由を活かして、大人たちにつけ合おう。子どもたちのことを思うならば、一緒に森を守ろう、と。環境破壊や戦争を引き起こすファストな社会に歯止めをかけて、持続可能な生き方へとスローダウンしていこう」と。

世界の森を守るために、私にできることリスト

- ・ 森の中へ出かける、遊ぶ。
- ・ ティッシュペーパー、紙カップなど、使い捨てのものを買わない、使わない。
- ・ 紙を節約し、使う時は再生紙と非木材紙を使う。
- ・ 家を建てるなら、間伐材やストロー・ペイルなどの持続可能な建築素材を探す。

■ ナマケモノ倶楽部 (The Sloth Club)

セヴァン・スズキの『あなたが世界を変える日』(学陽書房)を編集・翻訳した市民団体 (NGO)。1999 年 7 月、「スロー」をキーワードに環境+文化+エコビジネスという 3 分野の融合をめざして設立。低エネルギーで循環共生型で非暴力な動物、ナマケモノをお手本に、できるだけ電気やガスなどのエネルギーを使わずに、地球にやさしい生き方を実践し、それを周りに広めようと活動している。 www.sloth.gr.jp/

■ 森の声キャンペーン www.morinokoe.com

■ セヴァン・スズキ関連図書

- ・ 『あなたが世界を変える日』(セヴァン・カリス＝スズキ著、ナマケモノ倶楽部 編・訳、学陽書房)
- ・ 『私と地球の約束～セヴァンのわくわくエコライフ』(セヴァン・カリス＝スズキ著、辻信一訳、大月書店)
- ・ 『セヴァン・スズキの私にできること～森のつくりかた、まもりかた』(セヴァン・カリス＝スズキ著、ゆっくり堂)